

脚本家 山田太一展示コーナーについて

1 経緯・山田太一氏について

日本を代表する脚本家であり小説家でもある山田太一氏は昭和9年東京 浅草生まれ、戦時中の疎開により小学校3年から高校まで約9年間は湯河原町で過ごしました。早稲田大学を卒業後、松竹大船撮影所で木下恵介監督に師事、その後1965年からフリーの脚本家として活動を開始しました。



山田太一氏

『それぞれの秋』『男たちの旅路』『岸边のアルバム』『ふぞろいの林檎たち』等名もない庶民の日常を丁寧に描く作風で、芸術選奨文部科学大臣賞をはじめ名だたる賞を受賞、70～80年代のテレビドラマ界を牽引した脚本家です。また、小説『異人たちとの夏』で山本周五郎賞を受賞。舞台脚本でも活躍し、他に並ぶ者がいないほどの業績を残され、令和5年11月、惜しまれつつご逝去されました。（享年89歳）

山田氏は、折に触れ「湯河原が自身の情操を育ててくれた」と書いておられました。ご遺族は「山田太一のバトンを繋ぐ会」を組織し、数ある誘致提案がある中、故人の感謝の念を汲んで、書斎一式（机・椅子・書棚等）と貴重な資料を湯河原に寄贈し、展示等によって次世代の方々に役立ててもらいたい、と本年1月申し出られ、町ではこれを受け、検討を進めています。

2 展示コーナー（案）について

展示公開について図書館としては、寄贈資料を活かし、郷土ゆかりの偉人である山田太一氏の功績を顕彰し、学びの場として常設展示コーナーの設置を検討しています。

現時点では以下のような構成を想定しており、今後、詳細な整備内容については関係機関と調整のうえ進めていきたいと考えております。

(1) 書斎の再現

寄贈された執筆机や椅子、書棚などを用いて、山田太一氏が日々執筆に取り組んでいた空間を一部再現します。

(2) 作品視聴コーナー

山田太一氏の代表的なテレビドラマ等を視聴できるコーナーを設け、山田氏の映像作品の魅力を広く紹介します。

(3) 資料展示

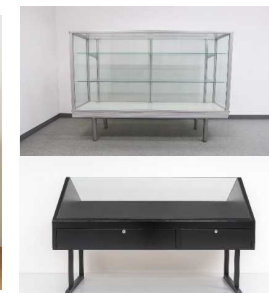
脚本原稿や直筆ノート、取材メモ、関連書籍など、貴重な資料の写しを手にとって御覧いただけるように展示します。



書斎イメージ



視聴コーナーイメージ



展示ケースイメージ

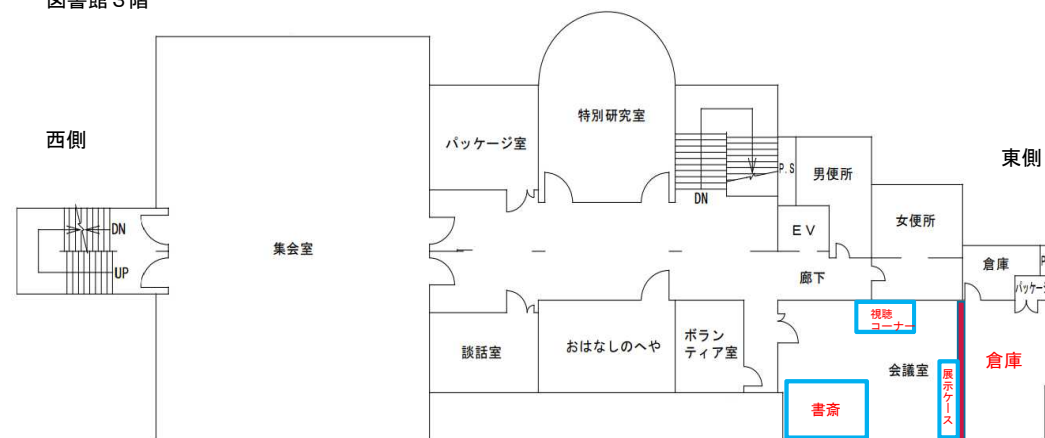
3 展示コーナー設置場所（案）について

展示スペースについては、図書館3階会議室の一部を活用することを想定しています。

会議室は、落ち着いた雰囲気と十分な面積を備えており、階段やエレベーターで3階に上がってすぐ位置することから、来館者がアクセスしやすく、展示空間としての活用に適していると考えられます。

このスペースにおいて、山田氏の書斎の一部や映像作品を視聴できるコーナー、さらに執筆に関する貴重な資料の一部を一体的に配置することで、来館者が作品と創作の背景に自然に触れられる構成とし、会議室の落ち着いた空間を活用することにより、資料展示と映像鑑賞を一体的に体験でき、山田氏の魅力をより深く感じ取っていただける場となることが期待されます。

図書館3階



4 概算費用

会議室改修費	3,300 千円
視聴コーナー機器	350 千円
視聴用品等	100 千円
防犯カメラ設置	100 千円
合 計	3,850 千円

5 展示の意義と見込まれる効果

本展示は、湯河原町ゆかりの脚本家・小説家である山田太一氏の功績を顕彰し、その作品世界に直接触れ学ぶ機会を提供することを目的とするものです。山田氏は戦後日本のテレビドラマ界において数々の名作を生み出し、多くの人々の心に深い感動を与えてきました。その創作活動の軌跡を、実際の資料や書斎の再現、視聴コーナー等を通じて紹介することで、文化芸術への理解を深めるとともに、次世代への継承を図ることが期待されます。

- ・ 地域の誇りの醸成

湯河原町とゆかりの深い文化人の業績を広く紹介することにより、町民の郷土への誇りや親しみを育む契機となります。

- ・ 図書館の文化拠点としての価値向上

資料の閲覧や映像視聴を通じて、図書館が単なる情報提供の場にとどまらず、文化的学びや感性を育む場として再認識されることが期待されます。

- ・ 多世代にわたる学習機会の創出

山田氏の作品の魅力や社会的背景に触れることで、若い世代から高齢世代まで、多様な世代が関心を持ち、対話や学びのきっかけとなる機会を提供します。

- ・ 観光資源としての期待

展示公開を行うことにより、山田氏の作品愛好者、脚本や映像表現を学ぶ方々の誘致だけでなく、駅前にある図書館の立地を活かし、湯河原を訪れる観光客に対しても文化的な魅力を提供することで、町全体の賑わいを一層深めることが期待されます。

6 今後のスケジュール（案）

	令和7年度							令和8年度	
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
手続 関係			● 12月補正 ● 視聴作品申請	→					● 順次作品 視聴開始
工事 関係					● 入札	● 業者決定 契約	● 工事着工	◎ 展示開始	

令和7年9月	総務文教・福祉常任委員会
10月	視聴作品申請
12月	12月補正予算計上
令和8年1月	入札
2月	業者決定・契約
3月	工事着工
4月	展示開始